

平成28年度 中央区立久松幼稚園 外部評価報告書

外部評価委員：前田晶雄、関口利子、中村正信、佐藤 寛、川口修一郎、福田俊子、五味まさみ、岩田享也（敬称略）

報告書作成者：境田 和男（第三者評価委員）

評価時期 平成29年 3月

1 重点目標の評価

重点目標1について・・・自分から進んで健康で豊かな生活を送れるようにするために、必要な習慣や態度を身に付ける。そのために体験、繰り返し、あいさつを重視する。

この項目については、保護者からの肯定的な評価がほとんどで、目標は十分に達成されている。特に、①降園時の保護者との情報共有、保護者会や学年・学級だよりを充実させたこと ②うがい手洗い、衣服の着脱、トイレなどの活動を毎日繰り返し体験させたこと。③様々な人と関わる場で気持ちよいあいさつをする機会を意図的に繰り返し設けたことなどが大きな要因であると思われる。

重点目標2について・・・学級・学年を超えた関わりがもてるようにするために、他学年と一緒にする交流活動を充実する。

この項目についても肯定的な評価がほとんどで、目標は十分に達成されている。特に、①他学年との交流を通し、一緒に遊ぶことや関わることを楽しむ経験をさせていること。②異年齢活動を充実させるために、教職員が連携を深めたこと。③併設小学校や他の幼稚園、保育園の教職員、地域の方々との連携を図り情報交換や交流活動を充実させたことなどが大きな要因であると思われる。

重点目標3について・・・豊かな心と健やかな体を育成するために、多様な動きや製作活動を取り入れる。

この項目についても肯定的な評価が多く、目標は十分に達成されている。特に、①発達に応じた素材の提供やイメージ・意欲を引き出す活動を工夫したこと。②多様に身体を動かして遊ぶことを楽しめるように、各年齢の発達に応じて、環境を生かした活動の場を工夫したことなどが大きな要因と思われる。

重点目標4について・・・幼児の生活や心情を豊かにするために、栽培活動、食育、伝統行事を積極的に取り入れる

この項目では、①コミュニティー道路での栽培活動や栽培物を食べる活動 ②地域社会の方々との触れ合いなどを重視した活動に取り組んだ。保護者からの肯定的な評価も多く目標は十分に達成されている。

2 今後の改善に向けた意見

○あいさつについては、教師が手本となり繰り返し指導をしていくことが必要である。

○日々の降園時に、より具体的に幼児の活動や遊び、生活の様子を保護者に伝えるようにし、情報共有をより一層深めるようにする。

3 その他の意見

園長を中心とした教職員の真摯な取り組みは、保護者、地域から高い評価を得ている。

平成28年度 中央区立久松幼稚園 外部評価報告書

外部評価委員： 前田晶雄、関口利子、中村正信、佐藤 寛、川口修一郎、福田俊子、五味まさみ、岩田享也（敬称略）

報告書作成者：峯川一義（第三者評価委員）

評価時期 平成29年3月

1 重点目標の評価

(1) **重点目標1**（自分から進んで健康で豊かな生活を送れるようにするために、必要な習や態度を身に付ける。）

○「うがい、手洗い、衣服の着脱、トイレなどの活動」が「よくできている」という保護者の評価が昨年度より27ポイント上昇し、約9割となった。幼児期に必要な生活習慣を身に付ける指導がしっかり行われていることがうかがわれる。また、「あいさつをする機会の設定」についても、27ポイント上昇しているが、これは「よくできている」が7割に満たない。今後は、例えば、「設けているか」は「できているか」のように、幼児の成長を見取る文言で評価をすることも検討するとよい。

(2) **重点目標2**（学級、学年を超えた関わりがもてるようにするために、他学年と一緒にする交流活動を充実する。）

○昨年度と比べて保護者の評価に変化の少ない重点目標であった。同学年、異学年の交流で得られる「相手の存在への気付き」や「自己の存在感」について、保護者に幼児の具体的な姿を示して評価を求めるとよい。

(3) **重点目標3**（豊かな心と健やかな体を育成するために、多様な動きや製作活動を取り入れる。）

○保護者アンケートでは、「ア そう思う」が他の項目と比べ少ないが、6月に行われたオリンピック・パラリンピック教育実践報告会における公開の保育では、年中、年長の幼児が、教師のピアノに合わせ、歌ったり踊ったり楽しそうに生き生きと活動している姿が見られた。

(4) **重点目標4**（幼児の生活や心情を豊かにするために、栽培活動、食育、伝統行事を積極的に取り入れる。）

○保護者アンケート3つの質問項目すべてで肯定的な意見が100%に近かった。園の考える「豊かな心情」が育った幼児の姿と保護者の考えが一致していることを検証する必要がある。

2 今後の改善に向けた意見

○外部評価委員会では、先生は一生懸命やっているという高い評価が得られた。保護者の評価も一つの項目を除いて肯定的な評価が90%を超えていたが、肯定的な評価と否定的な評価に分けるだけでなく、肯定的な評価の中でも「ア そう思う」と「イ ややそう思う」の分布の状況から分析することが必要である。

3 その他の意見

○園に対する保護者の意見や要望は概ね好意的であるが、多様化してきている。今後とも、園の方針を丁寧に説明し、協力を求めていく姿勢が全教職員に求められる。